

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：5/14～5/18

・ 5/14(月)

国会論戦(加計学園、セクハラ問題)、米大使館移転、北朝鮮高官が中国訪問、元千葉市議が殺人未遂で逮捕などのトピックが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、国会論戦と米大使館移転については問題が見られました。

・ 5/15(火)

岸井成格氏死去、在イスラエル米大使館、財務省セクハラ問題、財務省文書改ざん問題、北朝鮮核開発問題などのトピックが報じられました。財務省セクハラ問題、財務省文書改ざん問題、北朝鮮核開発問題については放送法第四条の見地から検証を行いました。財務省文書改ざん問題については放送法の見地から、財務省セクハラ問題については印象操作の見地から問題のあるものでした。また岸井成格氏死去、在イスラエル米大使館については検証者の所感を記しました。

・ 5/16(水)

北朝鮮が南北閣僚会談を突然キャンセル、旧優生保護法問題などのトピックが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いました。問題となる場面は見られませんでした。

・ 5/17(木)

新元号、米朝首脳会談、森友問題などのトピックが報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いました。問題となる場面は見られませんでした。

・ 5/18(金)

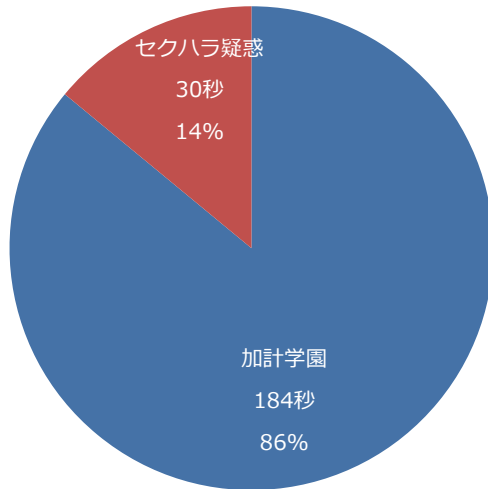
北朝鮮核廃絶問題、財務省公文書改ざん問題、加計学園問題、TPP 関連法案と茂木大臣などについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の見地から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。また、財務省公文書改ざん問題については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月14日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：国会論戦(加計学園、セクハラ問題)、米大使館移転、北朝鮮高官が中国訪問、元千葉市議が殺人未遂で逮捕		
報道トピック一覧		
<ul style="list-style-type: none"> ・新潟女児殺害 ・日大アメフト部悪質タックル ・国会論戦(加計学園、セクハラ問題) ・米大使館移転 ・北朝鮮高官が中国訪問 ・ハワイ、キラウエア火山 ・スポーツ情報 ・23Today 新潟女児殺害 日大アメフト部悪質タックル 元千葉市議が殺人未遂で逮捕 ファミリーマート「民泊」参入 松尾敏伸容疑者逮捕 ・新潟女児殺害 ・天気予報 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨		
<ul style="list-style-type: none"> ・国会論戦(加計学園、セクハラ問題)→結論：放送法四条第一項二号に照らし合わせると不十分 <p>今回の報道は国会の集中審議内において野党側によって追及された加計問題、セクハラ問題についての報道であり、このトピックスについて充てられた時間は218秒であった。なお、今回加計問題、セクハラ問題についてスポットの当てられた時間配分及び比率は以下の通りだった。</p>		



セクハラ疑惑についての主なシーンは麻生太郎財務相が野党側から被害女性に謝罪するよう促されたうえで以下のようなやり取りが紹介された。

麻生太郎(財務相)：改めて口頭で言えと、ということをおっしゃるんですか？お詫び申し上げるということは最初から申し上げたと思いますけど、おわびを申し上げます。はい。

野党議員：ちゃんと謝ろうよ、謝るときは。

また加計学園についての主なシーンは安倍総理による答弁であり以下のようなやり取りがVTRで取り上げられていた。

中野洋昌(公明党 衆院議員)「総理はこの件について本当に柳瀬さんから報告を受けていないのか。」

安倍総理「私自身が毎日分刻みのスケジュールをこなす中で秘書官への来客についてまで私が報告を受けることはありません。本件についても柳瀬元秘書官が参考人招致で述べた通り、報告は受けておりません。」

本多平直(立憲民主党衆院議員)「総理の秘書官が一般の地方自治体と、それからまた業者、規制緩和を望む業者と、3回も面会したこと自体は、今思うと適切だったと思われませんか。」

安倍総理「面会した結果ですね、例えば八田座長と民間議員に柳瀬秘書官が働きかけをして、こういう方向でやってくださいと言えば、これはもう問題ですよ。明らかに問題。プロセスにおいてはですね、問題はないと考えております。」

以上のようなVTRを受けてスタジオでは

雨宮キャスター「自民党は前知事は呼んでいるのに現職の今一番よく事情を知ってる中村知事を呼ばないというのはどうしてですか。」

星キャスター「中村知事も呼ばれたら県庁を代表してお話ししますと言ってるんですからね、今呼んでもいいという事情なんですけど、これは自民党が反対してるわけですね。自民党からすればこの問題は柳瀬さんの喚問で

参考人招致で幕を下ろして、次の法案などに話全体の舞台を写そうと、そういう魂胆と言いますか、思惑でしょうね。」

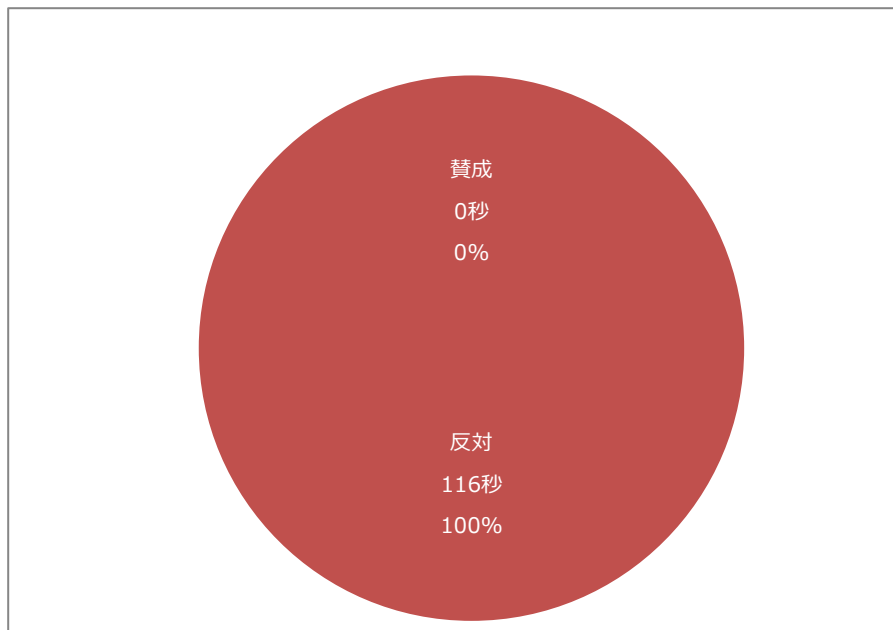
駒田キャスター「駒田：JNN が週末に行った、世論調査をご覧ください。柳瀬氏の答弁を受けて疑惑は深まったという人は全体の 74%に上っていて、一定のくぎりはついた、の 15%が大きく上回ってるわけですね。」

星キャスター「有権者がよく見ているような気がしますね。柳瀬さんの答弁はとりあえずつつま合わせはしてるんですけども、都合の悪いところになると、ちょっと記憶が曖昧ということで真相を解明には至らずということですよ。やっぱりこれから真相解明するにはその中村知事の招致とか、関係省庁のその資料提供なども一層積極的にやっていかないと進まないという気がしますね。」とのやり取りがあった。

スタジオ内でのコメントが否定的な論調に偏っており、放送法第四条第一項二号の「政治的に公平であること。」に照らし合わせると不十分であると判断する。

- ・米大使館移転→結論：放送法第四条第一項二号、四号に抵触のおそれあり

エルサレムに米大使館が移転しその記念式典が行われる一方、ガザの境界付近で抗議活動が行われ、それに対し治安部隊が発砲、多数の死傷者が出たことについての報道でありこのトピックスに充てられた時間は 141 秒であった。大使館移転に対して肯定的な意見を賛成、否定的な意見を反対として集計したところ賛否の時間配分比率は以下ようになった。



反対意見では現地からの報告として村瀬健介氏が「はい。私は今新たにアメリカ大使館が移転されました、中東エルサレムにいます。つい先ほどまでトランプ大統領の長女イバンカ氏らが出席しまして、記念式典が開かれていました。式典の中ではトランプ大統領のビデオメッセージも流されました。この大使館の移転の動きはイスラエルの人々には熱烈に歓迎されていますけれども、パレスチナ側の人々からは猛烈な反発が起きています。私は先ほどまでイスラエルとガザの境界付近で行われている大規模な抗議活動取材してはいたんですけども、現場にはイスラエルの治安部隊の発砲音が響きまして、死傷者が出ているパレスチナ側に混乱が広がっている様子

が見えました。今日だけで少なくとも 41 人が死亡。1800 人以上が負傷していきまして、この抗議活動が始まった 3 月末以来最悪の衝突となっています。トランプ政権による大使館の移転が、現地の暴力を誘発する形となっ
ていきまして、中東和平の見通しは一層を暗くなっています。こちらからは以上です。」と発言していた。

またスタジオ内で星氏は「アメリカは従来程度の差はあっても中東ではパレスチナとイスラエルの仲介役とい
うことを話してきたんですね。時間かかっても仲介によって和平を実現するんだという姿勢だったわけですが、
今回のエルサレムへの移転というのはですね、アメリカが仲介役を放棄してイスラエルと一方の当事者の支援に
回ろうということを明確したわけですね。そういう意味で中東和平の動きを後戻りさせるという意味で、私は暴
挙だと思いますね。仮にアメリカが将来ね、仲介役に戻ったとしてもね、パレスチナの方から信用されなくなる
という点ではアメリカ外交に対しても非常にマイナスを及ぼしてると思いますね。」とアメリカの一連の施策を批
判していた。なお賛成意見は皆無であった。

番組が経緯説明を除けば全て否定的な論調で構成されており、意見も番組関係者の発言のみで一面的かつ多角
性が全く感じられない報道であった。以上をふまえると放送法第四条第一項二号の「政治的に公平であること。」
四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」に抵触して
いると考えられる。

・北朝鮮高官が中国訪問→結論：特に問題は見られず。

中国北京空港に北朝鮮の朝鮮労働党幹部を含むおよそ 20 人の代表団が訪れたことについての報道であり、こ
のトピックスに充てられた時間は 31 秒であった。なお今回は対立点や論点などは見られなかった。

・元千葉市議が殺人未遂で逮捕→結論：特に問題は見られず

昨日夜に千葉市の飲食店に来店した家族四人が元千葉市議の小田求容疑者に包丁で切りつけられ 6 歳の長女が
死亡し父親と母親が住所を 1 歳の次女が軽傷を負ったことについての報道。なお今回の報道で論点や対立点は見
られなかった。このトピックスに充てられた時間は 29 秒であった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックスの報道内容要旨

特になし

検証者所感

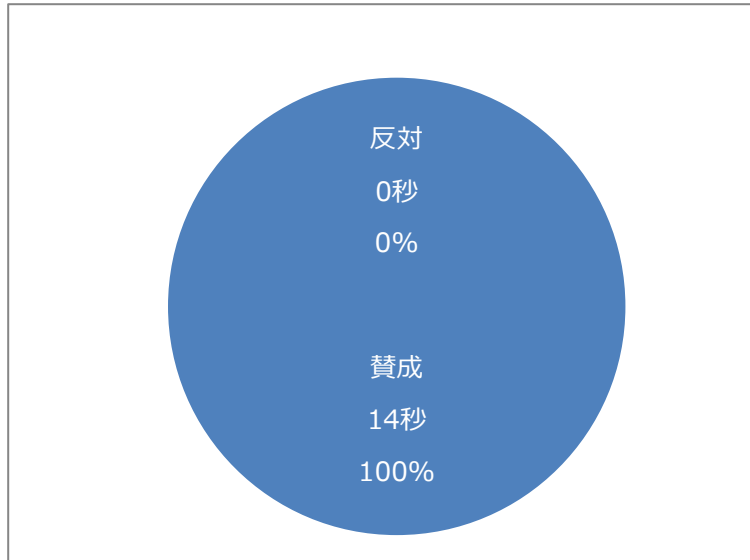
特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月15日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：財務省セクハラ問題 財務省文書改ざん問題 北朝鮮核開発問題		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・本番組の元アンカー・岸井成格さん逝去 ・新潟女子殺害事件、実行犯が死体遺棄に加えて殺害も認める ・日本アメリカンフットボール協会会長「ありえない」と批判一日大アメフト部選手のラフプレーに対して ・在イスラエル米大使館イスラエル移転に対してガザ地区で抗議 死者 60 名超、生後 8 か月の赤ちゃんも ※（誤）イスラエル移転（正）イェルサレム移転→番組終盤で訂正 ・麻生蔵相、前財務事務次官のセクハラ行為を「個人として」事実であると認定 ・財務省による文書改ざん問題 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> ・岸井成格氏死去 ・新潟で女子の死体遺棄で逮捕された男、殺害についても認める ・北朝鮮の核実験場から設備が撤去されていることが確認される ・金塊 10kg 香港から密輸。暴力団関係者ら逮捕 ・一家切り付けの元千葉市議、家族から仕事の話がされカットになったと供述 ・気象情報 		
放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・財務省セクハラ問題：結論→問題なし 前財務次官によるセクハラ問題について、麻生蔵相が閣議後の記者会見で「財務省の所管をしている財務大臣としても個人としてもセクハラ行為を認定したと考えていただいて差し支えありません」と発言し、先週の衆院財務金融委員会での「本人が否定している以上、個人としてセクハラ行為を認めていない」との発言が事実上修正されたと伝えた。 事実関係を淡々と伝えており、放送法第 4 条の見地からは特に問題はみられなかった。 ・財務省文書改ざん問題：結論→問題あり 財務省の文書改ざん問題について、自民党と立憲民主党の与野党第一党間で改ざん前文書等の国会提出時期について協議が進められてきたが、自民党側が当初目途としてきた 5 月 18 日から 23 日に延期すると表明。それに対して、立憲民主党の辻元衆院国対委員長から「(延期は) 不誠実だと思います。いろんな虚偽や改ざんをさらに覆い隠しているというか、そういうように感じます。」との批判があり、与野党間で提出時期をめぐるせめぎ合 		

いが続いていることを報道。

賛成(野党側)、反対(与党側)それぞれの放送時間、ならびに比率は以下の通りであった。



比率ベースで見れば、与党側の提出期限の延期を批判する野党側の意見のみが取り上げられており、なぜ延期に至ったのか、そもそも5月18日という当初の提出期限について与党側と握れていたのか、といったような観点からの説明が一切なかった。とりわけ、前者の延期に至った理由・事情については、辻元国対委員長による「(延期は)不誠実だと思います。いろんな虚偽や改ざんをさらに覆い隠しているというか、そういうように感じます。」との発言の妥当性にも関わってくる重要な問題であり、それを報じないことはきわめて不誠実といえよう。

- ・北韓核開発問題：結論→特に問題なし

男性ナレーターによって「北朝鮮・プンゲリにある核実験場の映像が公開されました。先月20日と比べると、運搬用のカートのレールなどが撤去されていることが確認できるとしています。北朝鮮は今月23日から25日に核実験場廃棄の式典を開催すると発表しています。」と事実関係が紹介されたのみで、特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

- ・財務省セクハラ問題：結論→やや問題あり

麻生蔵相は「財務省の所管をしている財務大臣としても個人としてもセクハラ行為を認定したと考えていただいて差し支えありません」と、所管大臣としての立場と個人としての立場の両面で、前次官によるセクハラ行為を認定したと述べたにも関わらず、

画面右上のヘッダーには「麻生氏『個人として』認める「前次官のセクハラ行為」と記されており、あたかも個人の立場では事実関係を認めながらも、所管大臣としては否認しているような誤解を与えかねないのではないか。

検証者所感

- ・本番組の元アンカー・岸井成格さん逝去

以前本番組でアンカーを務めていた岸井成格氏がお亡くなりになられたとのことで、その特集に時間が割かれ「ジャーナリストとしての原点は、戦争そして権力の監視」という生前の言葉とともに、熊本支局に配属され水

侯病の取材にあたった新人記者時代から亡くなるまで一貫して、権力の監視と反戦平和の理念を大事にしてきたことを過去のテレビ出演映像を出しながら紹介された。こうした取り上げ方からは、もっぱら生涯を通じて権力の監視役として振舞ってきた「ジャーナリスト岸井成格」の姿は強く伝わってきた一方で、公私両面の交流を通じて保利茂などの保守政界の大物と信頼関係を築いてきた「政治記者岸井成格」としての側面が十分に伝わってこなかったように思える。

・ 在イスラエルアメリカ大使館移転問題

スタジオでは以下に朱記したような発言(注：検証者が要約)されていた。

星キャスター(発言を要約)「欧州各国のメディアが”American First(第一)”どころか”America Alone(孤立)”と形容しているように、トランプ大統領の外交姿勢に対する批判が強まっている。(イスラエル大使館のエルサレム移転は、)中間選挙でのユダヤ系の支持を得るために進めているという側面があるが、国際的に風当たりが強まっている。」

雨宮キャスター(同)「河野外相は本問題についてはアメリカの方針とは距離を置く姿勢を見せているが」

星キャスター(同)「日本はもともとイスラエルとパレスチナの双方にパイプを築いて、信頼関係を構築しており、その姿勢は国際社会からも評価されている。だから河野外相にはもっとその姿勢を国際的にアピールし、和平に貢献してほしい。」

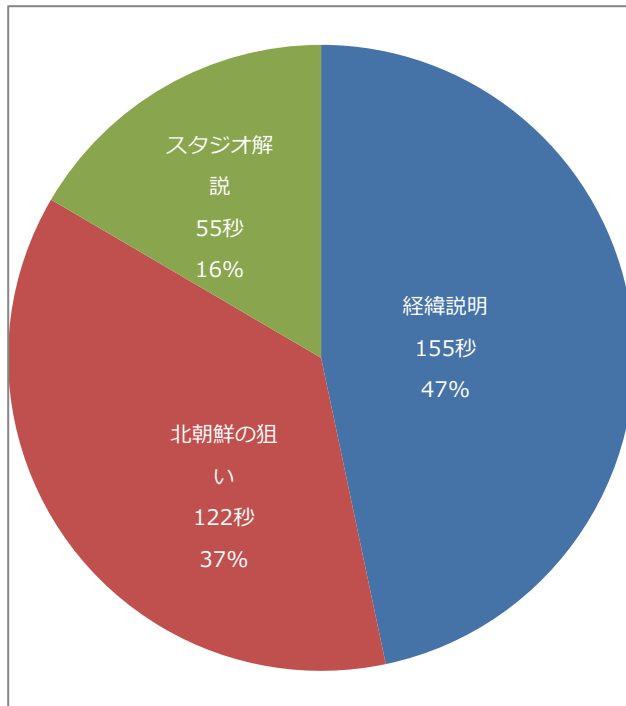
このように、星キャスターはトランプ大統領がイスラエル大使館のエルサレム移転を進める理由として、今秋の中間選挙に向けてユダヤ系の支持を得るためと説明していたが、事実認識としては正しい一方で、選挙対策として無原則に主張しているような誤解を与えかねない。一昨年に大統領選挙の公約として「エルサレム移転」を掲げていたことを併せて紹介してほしかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：平成30年5月16日
出演者：皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ：北朝鮮が南北閣僚会談を突然キャンセル、旧優生保護法問題		
報道トピック一覧		
<ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮が南北閣僚会談を突然キャンセル ・新潟県少女殺害事件 ・旧優生保護法問題 ・【セカイは今】ロシアのハッキング技術事情 ・日大危険タックル問題 ・iPS細胞で心臓病治療へ ・スポーツ報道 ・23 トゥデイ <ul style="list-style-type: none"> ・全国188ヶ所で真夏日 ・テレビ朝日社員が過労死 ・1歳男児死亡で両親逮捕 ・天気予報 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨		
<p>・北朝鮮が南北閣僚会談を突然キャンセル→結論：問題なし。</p> <p>報道では冒頭、北朝鮮が韓国との閣僚級会談を突然キャンセルしたことが伝えられた。また、それに伴い米朝首脳会談の中止を示唆する声明が発表されたことも合わせて伝えられた。その直接の理由として、米韓軍事合同演習があることが伝えられた。米朝首脳会談に関して金桂冠第一外務次官の声明は「我々を隅に追い込もうと一方的に核放棄だけを強要するなら、我々はそんな対話にこれ以上興味を持たないし、朝米朱桜会談に応じることを再考せざるを得ない。」「朝米会談を控えた今日、アメリカでは対話の相手をひどく刺激する妄言が出ていることは極めて許されないことであり、失望するしかない。」と発言したことが伝えられた。この場合の「妄言」とはボルトン大統領補佐官らが主張する核放棄の後の経済制裁解除という方式のことであることが説明された。</p> <p>今回のケースに関して北朝鮮事情に詳しいジャーナリストの平井久志氏は「本来の北朝鮮に戻ったというか、北朝鮮の揺さぶりだと思います。南北間ではキャンセルとか、これまでよくあったこと。」と発言。似たようなケースとして平昌オリンピック前の行動があることが紹介された。また、平井氏の発言として「米朝首脳会談の基本的な枠組みが壊れたと考えるのは早計であって、当面は6月12日という目標までにお互いがどういう合意点を探ることができるか。知恵を出し合う作業が今後続いていくと思います。」と発言した。</p> <p>スタジオに戻り、星キャスターが「アメリカへの揺さぶりはもちろんあるんでしょうが、東南アジアで長年外交官をやっている方に話を聞く機会があったんですが、どうやら北朝鮮には読み違いがあったのではないかというんですね。北朝鮮の読みからすると、トランプさんは秋の中間選挙に向けてなにか成果を出した</p>		

ということ、最終的には妥協してなにか合意を得られるのではないかと楽観的に見ていたわけですね。ところが、事務方のボルトン補佐官たちは完全非核化が実現するまで制裁解除などの見返りは出せませんよという原則論を貫くわけですね。北朝鮮のような独裁国家ならば上の言う通り全部やるんですが、アメリカは実務部分では官僚が積み上げますから、そこは北朝鮮のようにトップダウンで全部できるわけではないところを北朝鮮が今回見誤ったのではないという気がします。」と解説した。

今報道においては賛否が分かれる内容ではなかったため賛否に関わる時間計測は行わなかった。今トピックをいくつかのテーマに分割して時間計測を行った結果は以下の通り。



今トピックの報道時間は332秒。放送法第四条の観点からの問題点は見られなかった。

・旧優生保護法問題：結論→問題なし

報道の冒頭、駒田キャスターから「国による命の選別は何故行われたのでしょうか。」という衝撃的な発言があった。その後、旧優生保護法に関わる問題であることが伝えられ、この法の下で被害を受けた人々の内3人が国を相手に一斉提訴することが伝えられ、VTRに画面が移動した。

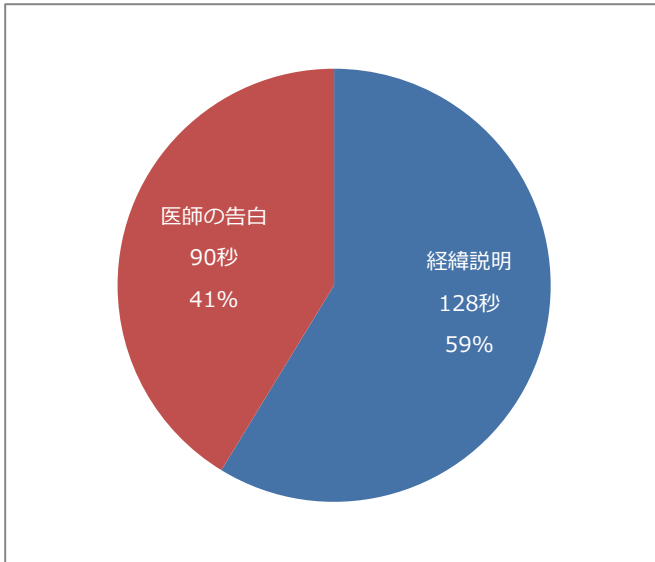
VTRでは旧優生保護法についての経緯説明が為された。旧優生保護法とは、知的障害がある人に対し、医師が必要と判断すれば本人の同意なく不妊手術が認められていた法律のことであると説明された。

この不妊手術に関わった医師として精神科医の岡田靖雄氏が当時の状況を証言した。「医局の黒板に半年に一回、優生手術の対象になる人を書き出してください。僕の場合、女性病棟の患者さんその人の名前を書き出して手術をした時に僕が助手をした。生活能力がない人が子どもを作ることとはとんでもないと。子どもを作らせないようにすることがその人達のためになると。それが福祉だと思ったわけですよ。」「これから出生前診断とかどんどん増えていくんでしょうけどそういうものを考えるためにも昔の事情をちゃんと調べる必要がある。補償法を作れば済むとなりかねないが、それだけで済ませれば同じことが、似たようなこ

NEWS23 週刊報告 詳細版

とが繰り返される可能性は十分あると思う。」と証言した。

今トピックは賛否の分かれる内容ではなかったため賛否の時間計測は行わなかった。今トピックを2つのテーマに分割して時間計測を行った結果は以下の通り。



今トピックの報道時間は218秒。放送法第四条の観点からの問題点は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感
特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年5月17日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：新元号、米朝首脳会談、森友問題		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西城秀樹さん死去 ・日大アメフト部悪質タックル ・旧優生保護法 ・新元号 ・米朝首脳会談 ・新潟女兒殺害 ・刃物男に刺され男性死亡 ・スポーツ情報 ・23Today <p>西城秀樹さん死去 日大アメフト部悪質タックル 脱走受刑者再逮捕 森友問題 駅伝強豪元選手が逮捕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新元号→結論：放送法第四条の見地からは問題なし 皇陛下の退位と皇太子さまの新天皇即位に伴う新しい元号の公表時期について政府が、来年5月1日の改元の一か月外と想定し準備を進めることを決めたことについての報道。政府は元号を改める上で情報システムの円滑な移行などを目的とする関係省庁の1回目の連絡会議を開催、会議では新元号の公表時期について元号を改める来年5月1日の1か月前と想定し準備を進めることを確認したと報じられた。また政府は今の天皇陛下の在位30年を祝う来年2月24日の記念式典以降に新元号を公表することを検討しており、新元号は来年2月下旬以降4月初めまでに明らかにされる公算と伝えていた。このトピックに充てられた時間は66秒だった。なお今回は対立点や論点などは特にみられなかった。 ・米朝首脳会談→結論：放送法四条の見地からは問題なし アメリカのトランプ大統領が北朝鮮の高官が米朝首脳会談の開催を見直す可能性に言及したことについて、北朝鮮に対しあくまでも非核化を求める考えを示したことについての報道。またボルトン大統領補佐官も完全かつ検証可能で不可逆的な非核化という目標は後退させないと、譲歩しない考えを強調したことも併せて報じられた。このトピックに当てられた時間は38秒であり賛否が分かれる点は見られなかった。 ・森友問題→結論：放送法第四条の見地からは問題は見られず 		

NEWS23 週刊報告 詳細版

森友学園への国有地売却をめぐる問題で、財務省理財局の複数の職員が去年2月に問題が発覚した時点で交渉記録が存在することを把握していたことが明らかになったと報じていた。また一部の職員は、佐川理財局長も交渉記録が存在していることを把握していたはずだと証言していることについても伝えられていた。このトピックに充てられた時間は26秒で対立点や論点は特にみられなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： News23	放送日： 2018年5月18日
<p>出演者： 星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙</p>		
<p>検証テーマ：北朝鮮核廃絶問題、財務省公文書改ざん問題、加計学園問題、TPP 関連法案と茂木大臣</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北で記録的大雨 ・日大アメフト部ラフプレー問題で、コーチが選手に「やらないというのは無いからな」と念押ししていたとの証言 ・北朝鮮核実験場閉鎖 ・財務省公文書改ざん問題 佐川前国税庁長官不起訴へ ・加計学園問題 現地視察の際に、内閣府次長が加計学園によって用意した車で移動していたにも関わらず、「官用車」と報告 ・藤井6段、史上最速で7段で昇段 ・英ヘンリー王子と米女優の結婚式、明日に迫る。現地では歓迎ムード ・速報：NHK 放送センター近くの路上で男性が首を切りつけられる。救急搬送されたが意識はあるとのこと ・スポーツ ・23today <ul style="list-style-type: none"> ・秋田市で記録的な大雨 ・日大アメフト部ラフプレー問題で、コーチが選手に念押ししていたとの証言 ・新潟女児殺害 ・TPP 関連法案めぐり、野党が茂木大臣の不信任案を提出 ・女優星由里子さん逝去 ・気象情報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮核廃絶問題：結論→特に問題なし 北朝鮮が、米韓両国に対して一時期の宥和路線から再び態度を硬化させていることを、南北閣僚級会談の中止を通告、米朝首脳会談の中止の示唆、核実験場閉鎖式典への韓国メディアの取材拒否などの例を持ち出して報じた。 また、その北朝鮮との首脳会談を来月に控えたトランプ米大統領が「我々が会談して結果が出れば、非常によい関係になるだろう。そして金委員長はとても強い保護を得ることになる」と述べたことを取り上げ、その発言について北朝鮮執行部の反発の沈静化を図る意味があったと説明したが、併せて「北朝鮮情勢に詳しいジャーナリスト」平井久志氏のコメントとして「米朝間の深刻な対立そのものはまだ解けていない。中身がまだ語られていないので、体制の保証とは何なんだという部分を事前協議で合意していないと、首脳会談は非常に困難になってくる。」との悲観的な見通しも紹介し、来月の首脳会談に向けて不確定要素が山積していることを伝えた。 スタジオでは、雨宮キャスターより「厳格な非核化を求めるボルトン補佐官と、柔軟な態度を見せるトランプ 		

放送法遵守を求める視聴者の会

氏ですが、足並みがそろっていないということでしょうか？」と大統領周辺で対北政策の不一致があるのではないかとの疑問が提起されたが、星キャスターは「むしろコーナーの使い分けをしているということです。一連のやり取りを見て、米朝の思惑の違いがはっきりしてきた。考え方が違う以上は実務協議が必要だが、北朝鮮はどうやらそれを避けたい。詰められるのが嫌ですから。曖昧な合意でもトップ会談で成果を出そうという考え方なのですが、アメリカ側は工程表を作成し、それをトップ会談で確認するという段取りを考えているのですが、その辺の違いが出てきている。実務協議がどのように始められるかが次のポイントになる。」と述べ、大統領周辺の路線対立よりも、問題の本質は米朝間の首脳会談を巡る思惑の違いにあると解説した。

このトピックについて当てられた時間は 254 秒で、この報道では事実の指摘にとどまっており、放送法第 4 条に抵触する点は見られなかった。

・財務省公文書改ざん問題：結論→特に問題なし

学校法人森友学園への国有地売却問題をめぐる公文書改ざん問題で、大阪地検は虚偽公文書作成の罪で告発された佐川前国税庁長官を不起訴とする見通しを固めたと報道。

本件の関係者として、学校法人森友学園の籠池泰典理事長(当時)と面談した田村前国有財産審理室長と、本件で公文書改ざんを実行したとされ、今年 3 月に自死を遂げた元近畿財務局職員の元上司にあたる小西近畿財務局管財部次長にインタビューを試みるも有意な回答が得られなかったこと、与党議員の「犯罪性がなかったということだ。世論は納得しないだろうけどな」という声をそれぞれ紹介した。

スタジオでは、雨宮キャスターから「財務省の公文書改ざんを認めているのに、不起訴だと、納得いきませんよね。納得できないとする人が多いように思いますが」との疑問が提起され、

それに対して、星キャスターは「地検は法律を厳格に解釈して、こういう結果になったのだと思いますが、ただはっきり言って、(佐川氏には) 公文書を勝手に改ざんした責任と、国会で「交渉記録はない」とうそをついた責任の両方があります。こういうことが罷り通るのであれば民主主義が成り立たない。ある意味民主主義への挑戦とも言えますよね、一連の話は。それに対する政治的な責任をしっかりとさせるのは国会の役割なんです。佐川氏は刑事訴追のおそれがあるからと言って証言を拒否してきたわけですが、訴追(の可能性)がなくなったら全部証言してもらおうのが筋だと思いますね。」と述べ、国会論戦を通じた政治的責任(この言葉が何を指すかは直接的には言及がなかったが、所管大臣の麻生蔵相、そして安倍首相の責任を指すと考えられる)の追及、そして佐川氏の証言による真実究明に期待を示した。

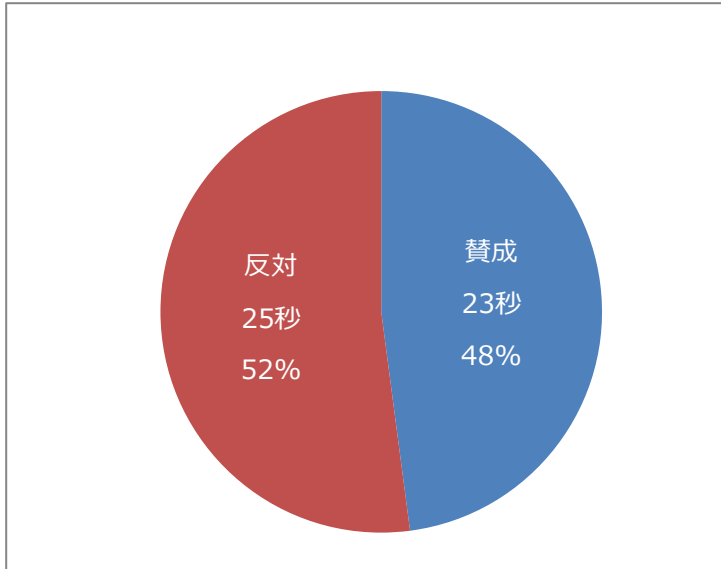
このトピックについて当てられた時間は 266 秒で、放送法の見地からは特に問題は見られなかった。

・加計学園問題：結論→特に問題なし

国家戦略特区の対象事業者の選定を行う内閣府職員が、当の事業者である学校法人加計学園より出張時の移動用車両の提供を受けていたこと、および出張記録上では加計学園の車両ではなく官用車を使用したことになっていたことが、野党議員の国会質問から発覚し、国家公務員の倫理規程に違反するとして野党議員が追及を強めていることを報道だった。

野党議員、およびそれを擁護する有識者の発言を「賛成」、政府、およびそれを擁護する与党議員ならびに有識者の発言を「反対」、どちらにも該当しない発言を「その他」と定義し、各々の放送時間の集計を行った。このト

ピックについて当てられた時間は秒で、賛否の比率及び時間配分は以下の通りである。



放送時間を基準とすれば、双方の意見がほぼ等しく取り上げられており、放送法第4条の観点と照らし合わせて特段の問題はないと判断できるものだった。

・ TPP 関連法案と茂木大臣：結論→特に問題なし

与党側が18日の委員会で採決を目指していた TPP 環太平洋パートナーシップ協定の関連法案について野党側は採決を阻止するため TPP を担当する茂木大臣への不信任案を提出したこと、これにより採決は週明けに先送りになったことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は26秒で、放送法の見地からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

・ 財務省公文書改ざん問題

高級官僚による公文書改ざんという国民感情からしてセンセーショナルな問題に対して、「街角の声」とかいふ題で街頭の極めて感情的かつ無責任な一般大衆の声を紹介しなかった点や野党議員にマイクを向ければ検察批判のコメントを採れたようにも思えるがそれをせずに政争報道として扱わなかった点については評価できる。